

《大町上空より北を望む》一九五六年

置賜文化フォーラム地域文化振興支援事業

ここにある風景

—長井の重要文化的景観を知る展覧会—

2021年11月3日(水) → 28日(日)

休館日:月曜日 / 開館時間:10:00～17:00 (入館は16:30まで)

会場:丸大扇屋 蔵座敷・新座敷 入場無料

水と共にある長井の暮らし

長井市は、町場を巡る河川や水路、また最上川舟運による流通や往来など、水との密接な暮らしによる景観形成が評価され、2018年「最上川流域における長井の町場景観」として『風景の国宝』とも言われる国の重要文化的景観に選定されました。本展では、その重要な構成要素でもある丸大扇屋を会場に、長井の景観や取り組みと併せて、山形県では長井市に先駆けて選定された大江町左沢の事例を紹介します。そうして今ここにある風景を改めて見直し、長井のこれからを考えます。

関連企画 ワークショップ

手のひらサイズの文化財

重要文化的 建築模型を つくろう



長井市では、市内にある多くの建築物が重要文化的景観の構成要素として登録されています。今回はその一つである旧西置賜郡役所『小桜館』をイメージした建築模型（白模型）を製作し、文化財をより身近に感じる体験会を開催します。

11月23日（火曜日・文化の日）

10:00～12:00

費用：500円

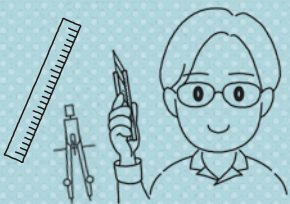
定員：10名（先着順）

会場：小桜館

ご予約は11月16日（火）まで（お電話またはホームページから）

※用意されたパーツを組み立てる入門的な内容です。

※特殊な刃物を使用するので、小学生以下は保護者の同伴をお願いします。



講師：工藤 裕太さん

1987年埼玉県生まれ。2018年より長井市に移住し地域おこし協力隊隊員に就任。2021年より重要文化的景観コーディネーターとして活動中。二級建築士、既存住宅状況調査技術者、古民家鑑定士一級。

文教の杜ながいで

開催中の展覧会 12月26日まで

長沼孝三彫塑館

怪の連作～長沼孝三の思想と表現～

丸大扇屋で生まれた彫刻家・長沼孝三が人間や社会を風刺的に表現した『怪』シリーズの彫塑作品などを展示。

入館料：大人300円、高校生200円、小中学生100円

丸大扇屋

このまちでつくる～世代を超えた二人展～

長井市で作陶を続けてきた陶芸家の田村敏博と、近年移住した画家の松崎綾子による世代を超えた二人展。



フラワー長井線長井駅より徒歩13分、あやめ公園駅より徒歩6分

ご来場の際は感染症対策としてマスクの着用、手指の消毒、検温等のご協力をお願いいたします。なお今後の状況によっては予定されているイベントを中止する場合があります。

お問い合わせ 長井市十日町1-11-7/ Tel:0238-88-4151
お申込みは→ www.bunkyounomori.com



文教の杜ながい
Bunkyounomori Nagai

